



佐野厚生農業協同組合連合会

地域医療支援病院 佐野厚生総合病院 地域医療連携室たより



病院長 村上円人

連携登録医療機関の皆様、こんにちは。

市内の梅の開花に春の兆しを感じる間もなく、オミクロン・サージが佐野地域でもその猛威をふるっております。当院は重点医療機関としてコロナ入院患者が増加する一方、内科病床のコロナ病床への転換にともない、満床による通常診療患者お断りが増加しております。コロナ入院患者は高齢でワクチン未接種者がほとんどです。ワクチンの重症化予防効果を痛感し、高齢者への3回目接種が、入院患者制圧への一里塚として重要であると確信しております。

2月から高齢者へのワクチン接種が本格化しますが、ファイザー社とモデルナ社による交互接種を避ける傾向があることを大変危惧しております。昨年12月の英国からの報告では、いずれのワクチンにおいても、接種から28日後の抗体価が有意に上昇するとともに、副反応は全てのワクチンの組み合わせで同様であり許容されるとしております。(Lancet. 2021;388:2258)

連携医の皆様には、『ファイザー社とモデルナ社の交互接種のすゝめ』の市民啓発に、是非ともご協力をお願い申し上げます。

今年寅年。『挑戦と飛躍の年』としたいものです。1月に県庁職員による現地調査が終了し、4月には災害拠点病院認定を控えております。その他の課題として、心臓カテーテル検査機器の更新、外来化学療法室の拡大、医師働き方改革への対応が挙げられます。4月の医師数、新規看護師入職者数は昨年度を上回る勢いです。各部門の世代交代・若返りを進めて、AI時代を見据えた医療変革に取り組んでまいります。

本年も、地域連携・病診連携をお願い申し上げます。

【対応時間】

地域医療連携室

- 月曜～金曜 8:30～19:00 0283-22-5222 (代表)
- 第1・3・5土曜 8:30～12:45

FAX 0283-22-8982

E-mail: renkei@jasanoko.or.jp<http://jasanoko.or.jp/link-up.html>

➤ 上記以外は救急センター対応

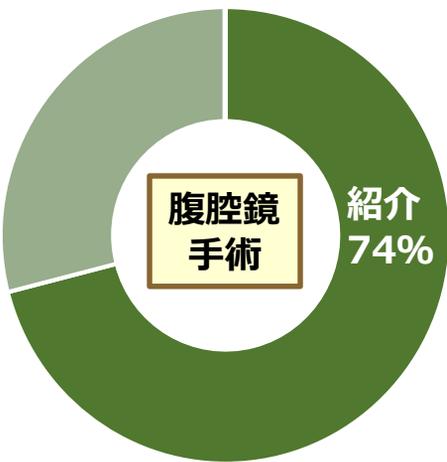
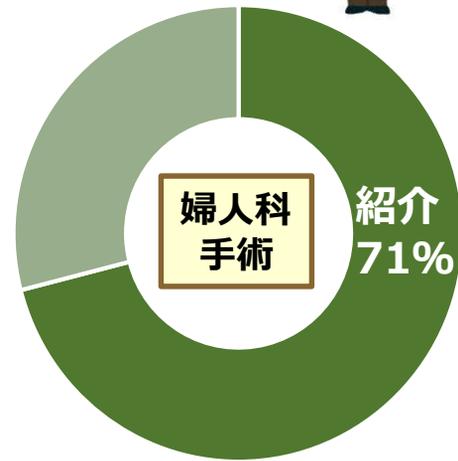
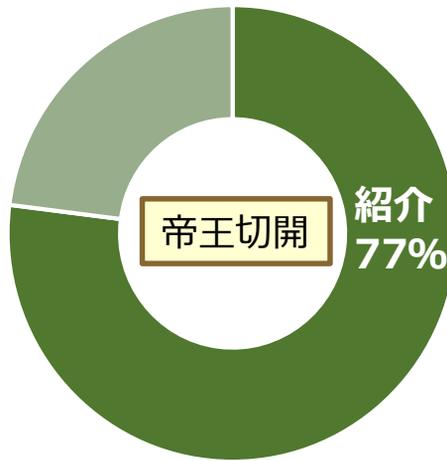
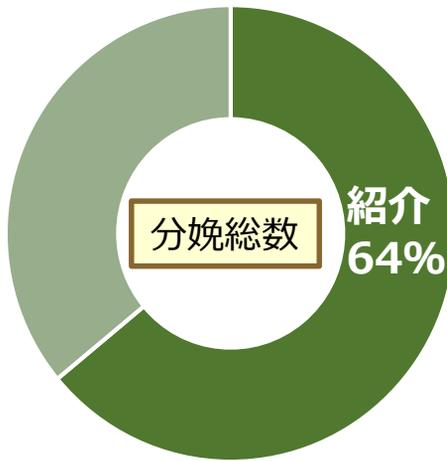
0283-22-5222 (病院代表)

産婦人科からのお知らせ



日頃より沢山の患者さんの御紹介ありがとうございます。

2021年1月から12月までの産婦人科の診療実績です。



分娩総数	343件	うち紹介	221件
帝王切開	123件	うち紹介	95件
婦人科手術	329件	うち紹介	233件
(産科手術除く)			
腹腔鏡手術	99件	うち紹介	73件

皆様からの御紹介で、2021年も分娩、帝王切開、手術と多くの診療実績をあげることが出来ました（腹腔鏡による子宮全摘手術も行っております）。引き続きの御紹介よろしくお願い致します。

患者誤認防止についてのお願い

当院では、患者誤認を防ぐために患者様の氏名・生年月日を確認しております。

当院へご紹介いただく際には、診療情報提供書に患者様の

氏名 **生年月日** **性別** 等ご記載いただければ幸いです。

お忙しい所お手数をお掛けいたしますが、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

栄養科が【病院機能評価データブック】に**評価S**の事例で掲載されました！！

3rdG:Ver.2.0 一般病院 2

2021年12月



公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

3.1.4 栄養管理機能を適切に発揮している

佐野厚生農業協同組合連合会 佐野厚生総合病院（500床～）更新受審
【適切に取り組まれている点】

調理業務は、関連マニュアルやガイドラインに準拠して一連の調理プロセスで実施されている。調理室は下処理、調理、盛り付け場所、下膳食器等作業区分において清潔・不潔の区分が明確にされ、温・湿度は適正に管理されている。配膳コンベアを設置し、盛り付け完了から病棟までの配膳を約5分という極めて短い時間で実現している。使用食材や調理済み食品は、14日間適切に冷凍保存され、職員の衛生管理も法令順守されている。患者のアレルギー対策は入院時に入退院支援看護師が確認し、電子カルテを通じて管理栄養士に伝達されると共に、入院時に管理栄養士が直接確認を行いダブルチェックを行っている。嗜好調査は年2回実施している。食材は地産地消を原則とし、病院所有の田畑で、職員および精神科の一部患者が栽培した米や野菜があるほか、JA系列病院である特性を生かし、近隣農家で収穫された旬の野菜や乳製品を調達して提供している。メニューは郷土料理や産科のお祝い膳など美味しい食事の提供に向けた努力を続けており、優れた栄養管理機能を発揮している。

『糖尿病・内分泌セミナー開催』

12月21日、慶應義塾大学の伊藤裕先生が糖尿病・内分泌セミナーにご登壇なさいました。伊藤先生から若手医師へのメッセージは、AI時代のprecision medicineとして、血圧やホルミン値などのビッグデータを解析し

（deep phenotype,）データのゆらぎ（変動）を医療に活かしていく（deep learning）時代が来る。これにより、集団の医学から、個別の医学への道が開ける。

データに基づく、とても示唆に富む、斬新で、魅力的な講演でした。



『令和3年度 栃木県医師会臨床研修医交流会』 ～最優秀賞受賞～



当院研修医12名と指導医の野田Dr.が参加しました「栃木県医師会臨床研修医交流会」において、2年目研修医の弓田健斗Dr.がドクターGで優秀賞を受賞しました。

【便潜血陽性】の患者様のご紹介について

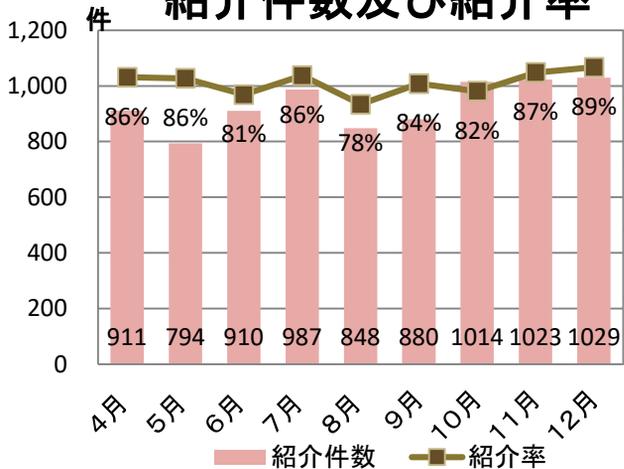
便潜血陽性 で精査のご依頼の患者様のご紹介は、**内科外来**でお受けいたします。

内科宛の紹介状をご用意いただき、**11:00まで**にご来院いただきますよう、ご案内をお願いいたします。痔などの外科疾患が疑われる場合は、外科宛にご紹介いただきますよう、よろしくお願いいたします。

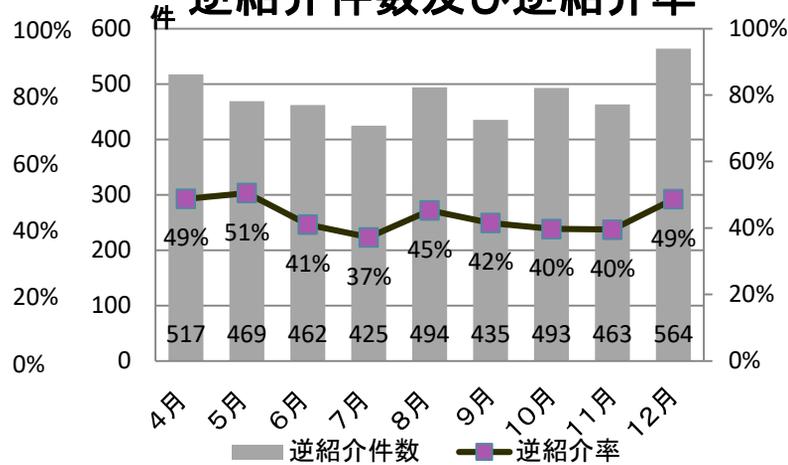
当院は、連携登録医療機関の先生方や各関係者の皆様とともに、今後も
 しっかり佐野市唯一の地域医療支援病院として地域医療を守っていきたく
 考えております。ご協力のほど宜しくお願い致します。

2021年度 月別紹介・逆紹介率

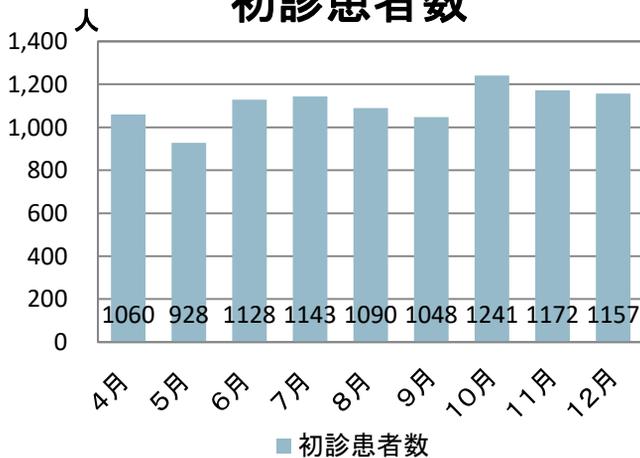
紹介件数及び紹介率



逆紹介件数及び逆紹介率



初診患者数



連携登録医療機関数

医療機関数		歯科医療機関数	
佐野地区	74	佐野地区	56
足利地区	40	足利地区	26
栃木・小山地区	27	栃木地区	1
館林・邑楽地区	45	館林・邑楽地区	—
太田	5	太田	—
合計	191	合計	83
2022年2月1日現在		274施設	

地域医療連携室から一言

新型コロナウイルスの感染拡大により、子供の学校行事等の変更や中止が相次いでいます。3月の卒業式は無事に迎えることができるよう、祈る日々を過ごしております。連携登録医療機関の皆様も多忙な日々をお過ごしのことと思います。2022年も、より良い連携がとれるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。 T・K